

KBC映像組合新聞

URL : <http://www.interq.or.jp/ox/eizo-uni/>

E-mail: kbceizo uni@r2.dion.ne.jp



16日(水)の大会で分離収拾案可決。
夏季一時金の妥結調印を行いました。
支給日は7月23日(水)です

KBC映像労組第3回臨時大会

17日(水)19時より臨時大会が行われ、春闘における賃金部分の分離収拾案が出されました。

大会では分離収拾を図る理由として、会社が正社員の夏季一時金については過去最高の算式を提示してきたこと、有期雇用者については会社から「業績に応じて検討したい」という前向きな回答あったことが大きな理由であるという執行部からの説明が行われました。

質疑応答では、組合員より「正社員に1万円上乘せできる原資があるのなら、それを有期雇用者と分けて支給する事はできなかったのか？」という質問や、「年俸を決める評定の方法が不透明で、去年は評価が下がった説明を求めたが説明してもらえなかった。評定は10月頃までに行われていると聞いているので、それまでに対策を考えて欲しい」といった意見が出されました。

質問に対して執行部は「一律金の原資の分配については団交でも確認しているが『すぐには難しい』と会社が回答していること。査定の方法についても団交で質問しているが、前労担の時には『評定結果は本人には見せません』という回答をしており、組合が評定用紙(個人の情報ではなく、評定項目)の開示を求めたところ、『検討します』と会社は回答しています」と説明を行いました。

また、大会では今後の方針の説明が採決の前に行われ、ベアや有期雇用者への別封などの賃金を勝ち取るためには、春闘・年末闘争の時期だけではなく、日頃から組合の団結を深めていく運動を続けていく必要があること。会社と対等の立場で協議できる存在になるためにもKBC映像労組を過半数組合しなければならないこと。さらに、三次回答で求めていた生理休暇の有給化の要求や、有期雇用者へのリフレッシュ休暇制度については今後も継続して協議を行うことを組合員に説明しました。

また、これまで組合新聞では掲載していなかった、時間外割増賃金の計算式に誤りがあり、本来は含まれるべき住宅手当が含まれていなかったと会社から報告があったことの説明が行われ、以前より組合が主張していた正社員のリフレッシュ手当の凍結が違法であるという問題と共に、今後の臨時大会で組合員と協議を行ったうえで方針を決定したいという報告を行いました。

大会ではその後、分離收拾に関する採決が行われ、賛成多数で分離収集案は可決されました。

賃金に関する妥結は行いますが、全ての問題が解決した訳ではありません。今後とも過半数組合を目指して、団結して頑張っていきましょう。

春闘における賃金に関する分離收拾案 採決結果

賛成15 反対3 保留3

有効投票数の過半数を超えましたので可決されました。

KBC映像労働組合 選挙管理委員会

妥結調印団交

臨時大会での分離収集案の可決を受け、17日(木)午前9時15分から団交が開かれました。

団交の出席者は業務の都合で田中委員長不在となりましたが、山田書記長から「有期雇用者の別封について『業績に応じて検討したい』という前向きな言葉があった。このことから分離収集を提案し、可決となった。」と一言述べ、調印となりました。

妥結調印書にも記載されていますが、支給日は7月23日(水)となります。

労連定期大会出席代議員の信任投票期間です

本日から、7月24日(木)まで「民放労連第107回定期大会」の出席代議員信任投票期間となっています。全組合員は必ず投票を行ってください。

立候補者 山田有一郎(KBC制作技術部派遣)

投票期間 7月18日(金)～24日(木)正午まで

KBC映像労働組合 選挙管理委員会

【今後のスケジュール】

7月26日(土)～27日(日) 民放労連 第107回定期大会(福岡市)

安定した雇用を勝ち取ることが会社を守ることにつながる